

第132回横浜市景況・経営動向調査（令和7年3月実施）（通常調査）

調査結果のまとめ

- ・ 自社業況BSIは、全産業で▲9.1と、大きく改善した前期から2.5ポイントの低下
- ・ 先行きについても、来期が▲13.8と、低下する見通し

【調査のポイント】

- 今期（令和7年1-3月期）の自社業況BSI（※）は▲9.1と、前期（▲6.6）と比べて2.5ポイント低下しました。
- 業種別では、製造業の今期のBSIは▲13.2と、前期（▲7.5）より5.7ポイント低下しました。非製造業の今期のBSIは▲6.2と、前期（▲6.0）より0.2ポイント低下しました。
- 規模別では、大企業の今期のBSIは▲13.9と、前期（▲20.0）より6.1ポイント上昇、中堅企業の今期のBSIは0.9と、前期（▲3.5）と比べて4.4ポイント上昇となりました。中小企業の今期のBSIは▲10.9と、前期（▲6.4）より4.5ポイント低下、また中小企業のうち小規模企業の今期のBSIは▲13.7と、前期（▲14.1）より0.4ポイント上昇しました。
- 先行きについては、来期（令和7年4-6月期）の自社業況BSIは▲13.8と、今期（▲9.1）より4.7ポイント低下、再来期（令和7年7-9月期）の自社業況BSIは▲12.5と、来期（▲13.8）より1.3ポイント上昇する見通しです。

【調査対象】 市内企業 1,000 社（回収数：673社、回収率：67.3%）

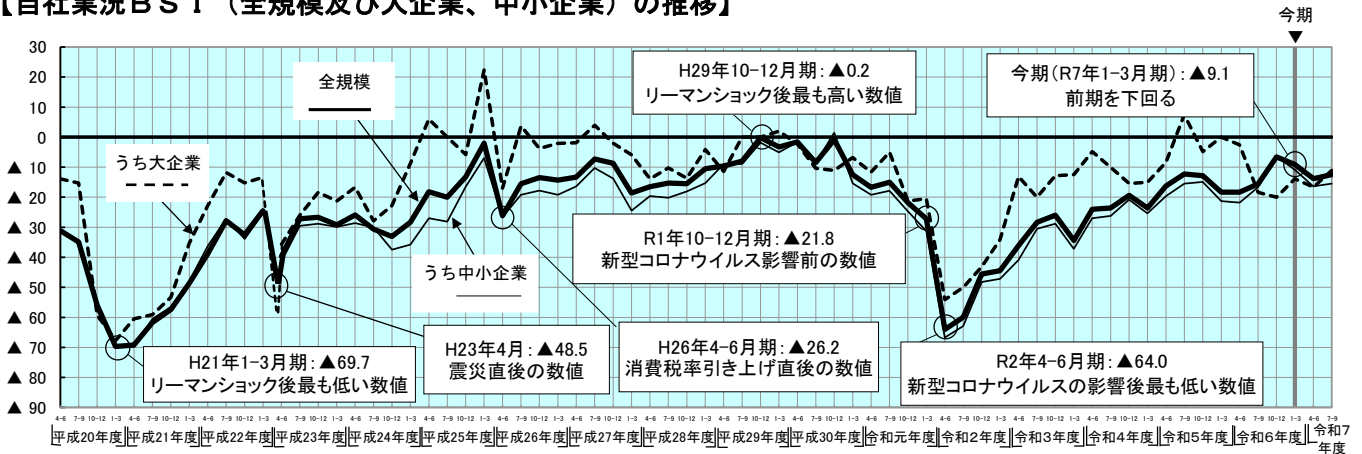
【調査時期】 令和7年1月30日～2月25日

※BSI（Business Survey Index）：自社業況 BSI は、自社業況が「良い」と回答した割合から「悪い」と回答した割合を減じた値です。

【調査の概要】

1 自社業況判断（自社業況 BSI：良い%－悪い%）

【自社業況BSI（全規模及び大企業、中小企業）の推移】



【自社業況BSI（業種別・規模別）の推移】

		令和6年 4-6月期	令和6年 7-9月期	令和6年 10-12月期 (前期)	令和7年 1-3月期 (今期)	今期-前期	令和7年 4-6月期 (来期)	令和7年 7-9月期 (再来期)
全産業		▲18.3	▲15.6	▲6.6	▲9.1	▲2.5	▲13.8	▲12.5
業種	製造業	▲26.4	▲21.3	▲7.5	▲13.2	▲5.7	▲18.5	▲15.7
	非製造業	▲12.9	▲11.8	▲6.0	▲6.2	▲0.2	▲10.6	▲10.3
規模	大企業	▲2.6	▲18.4	▲20.0	▲13.9	6.1	▲16.6	▲11.1
	中堅企業	▲6.8	▲10.3	▲3.5	0.9	4.4	0.0	1.9
	中小企業	▲21.8	▲16.7	▲6.4	▲10.9	▲4.5	▲16.4	▲15.5
	うち小規模企業	▲24.0	▲23.9	▲14.1	▲13.7	0.4	▲17.2	▲16.9

裏面あり



GREEN×EXPO 2027  
YOKOHAMA JAPAN


2027年国際園芸博覧会 2027年3月～9月 横浜・上瀬谷





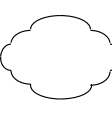
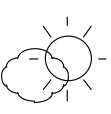
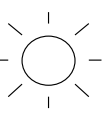


【業種別動向】(前期:令和6年10月~12月期、今期:令和7年1月~3月期、来期:令和7年4月~6月期)

業種	前期	今期	来期	ヒアリング対象企業のコメント
食料品等	 ▲ 11.1 (▲ 11.8)	 ▲ 36.9 (▲ 38.9)	 ▲ 15.8 (▲ 16.7)	・お弁当を中心に製造しているが、米の値上がりが止まらず、先が見通せない。 ・天候不順によりキャベツなどの青果物価格が高騰している。また、配送費の高騰も影響している。(ともに食品製造業)
鉄鋼・金属等	 ▲ 1.8 (▲ 1.8)	 ▲ 13.8 (▲ 14.0)	 ▲ 24.2 (▲ 24.6)	・中国との取引がストップしているとのことで、発注元から依頼が来なくなった。 ・主要受託先の生産計画が低下しているため、今後の自動車向けの生産減少が見込まれる。(ともに鉄鋼製造業)
一般機械	 ▲ 1.7 (▲ 1.8)	 ▲ 9.0 (▲ 13.5)	 ▲ 5.3 (▲ 7.7)	・発電設備などの需要が高いが、半導体関連で売上減少が見られる。(建設機械加工) ・半導体業界全体の動きは鈍いが、AI半導体に関連する設備が旺盛で当社の部品受注が増加している。(金属部品製造)
電機・精密等	 ▲ 2.2 (5.0)	 2.2 (7.3)	 ▲ 30.5 (▲ 30.0)	・システムの更新や設備投資の需要拡大により、受注が伸びている。(計測機器製造) ・中国及び欧州の経済状況が悪化しているため、販売数量が伸びず、先行きも不透明である。(電子部品・デバイスの設計・製造)
輸送用機械	 ▲ 35.0 (▲ 27.7)	 ▲ 15.7 (▲ 20.0)	 ▲ 15.8 (▲ 26.6)	・外国人観光客の増加に伴い、大型観光バスの需要が高まっている。(板金加工業) ・輸送量の増加、海運市況の好転、そして経済情勢の改善があいまって、業況は今期、来期ともに改善する見通しである。(海運業)
建設業	 3.6 (5.9)	 ▲ 3.9 (▲ 2.1)	 ▲ 9.8 (▲ 8.5)	・金利上昇などにより、工場オフィス商業施設の設備改修意欲低下が予想される。 ・新築住宅の着工件数は伸びていないものの、既存取引先からの受注が安定している。一方で、慢性的な人手不足は引き続き課題である。(共に建設業)
運輸・倉庫業	 ▲ 13.6 (▲ 20.6)	 ▲ 15.3 (▲ 18.9)	 ▲ 10.9 (▲ 13.5)	・米国による関税の引き上げにより、海外への輸出減少が懸念される。 ・休車3台が稼働すれば業況が改善される見込みだが、募集を継続中にもかかわらず全く応募がない。(ともに運送業)
卸売業	 ▲ 6.2 (▲ 6.6)	 ▲ 7.5 (▲ 6.1)	 ▲ 12.0 (▲ 14.2)	・原価の上昇が常軌を逸しており、売上が減少している。(半導体装置卸売業) ・主な販売先である中国の需要が、現時点では足踏み状態であり、先行きが不安である。(産業機械器具卸売業)
小売業	 ▲ 19.3 (▲ 18.7)	 ▲ 18.2 (▲ 20.6)	 ▲ 20.4 (▲ 30.3)	・節約を重視する層と高価な商品に支出する層の二極化が進んでいる。 ・国内の価格高騰による、「特に必要のないもの」に対する節約行動に加え、材料費の高騰分を販売価格に反映できていない。(ともに小売業)
飲食店・宿泊業	 17.6 (7.2)	 21.5 (16.7)	 0.0 (▲ 8.4)	・外国人観光客の増加と販売価格の上昇が好調の要因となっている。(宿泊業) ・来客数はコロナ禍以降も減少したままだが、客単価が増加しているため、売上高は前年並みを見込んでいる。(飲食業)
不動産業	 ▲ 8.5 (▲ 17.6)	 ▲ 5.7 (▲ 11.7)	 ▲ 8.8 (▲ 12.5)	・インバウンドの戻りなどにより、ホテル関連の不動産需要が堅調に推移している。 ・金利の状況には不安があるものの、不動産の販売は現在のところ順調に進んでいる。(ともに不動産業)
情報サービス業	 7.7 (5.2)	 14.3 (9.1)	 ▲ 4.7 (▲ 13.6)	・車載ソフトウェア開発の需要が引き続き高い水準を維持している。 ・システム開発の需要は引き続き高いと見込まれるが、技術者の育成には時間がかかるため、これが懸念材料となっている。(ともにシステム開発)
対事業所サービス業	 ▲ 7.5 (▲ 6.9)	 ▲ 3.5 (▲ 6.4)	 ▲ 1.8 (▲ 3.2)	・大型イベントが複数開催されたため、売上・利益ともに改善している。(警備業) ・新築着工件数の減少が続いているため、建設現場から発生する廃棄物の量も減少している。(産業廃棄物処理業)
対個人サービス業	 ▲ 12.5 (▲ 9.6)	 ▲ 17.7 (▲ 13.0)	 ▲ 21.2 (▲ 13.0)	・生活必需品の価格上昇により、客足と消費支出が減少している。 ・値上げを行ったが、客数は横ばいで推移している。一方で、慢性的な人手不足と賃上げによる影響が懸念される。(ともにサービス業)

※BSI=自社業況「良い」%-自社業況「悪い」%  
 ※今期の BSI (全規模) が前期よりも 10 ポイント以上差がある業種については、矢印を表記している。  
 ※表中の見方は右図の通り。

	← 天気マーク(下図参照)
▲ 5.8	← 全規模のBSI値
(▲ 22.2)	← 中小企業のBSI値

BSI	▲60.1以下	▲60.0~▲40.1	▲40.0~▲20.1	▲20.0~▲5.1	▲5.0~5.0	5.1~20.0	20.1以上
天気							

次頁あり



**GREEN×EXPO 2027**  
YOKOHAMA JAPAN

2027年国際園芸博覧会 2027年3月~9月 横浜・瀬谷



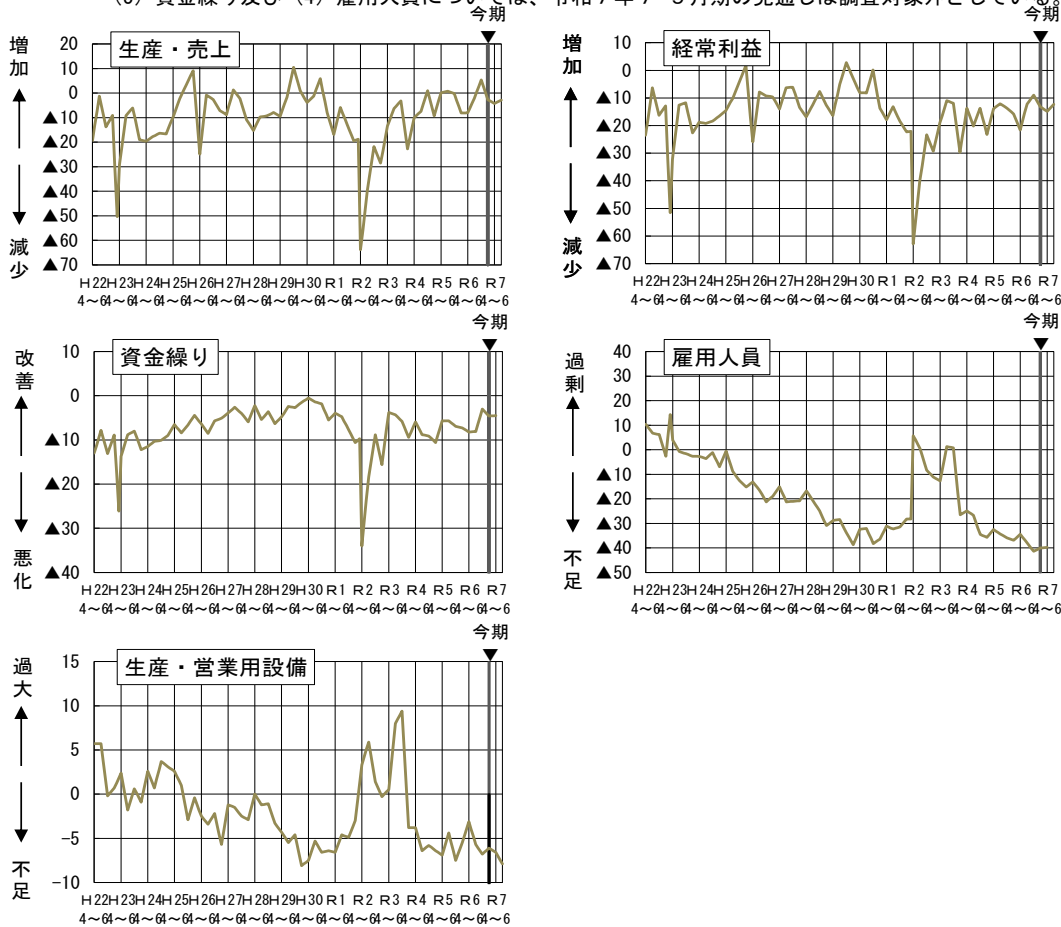
## 2 主要項目の推移

### 【主要項目(全産業)の推移】

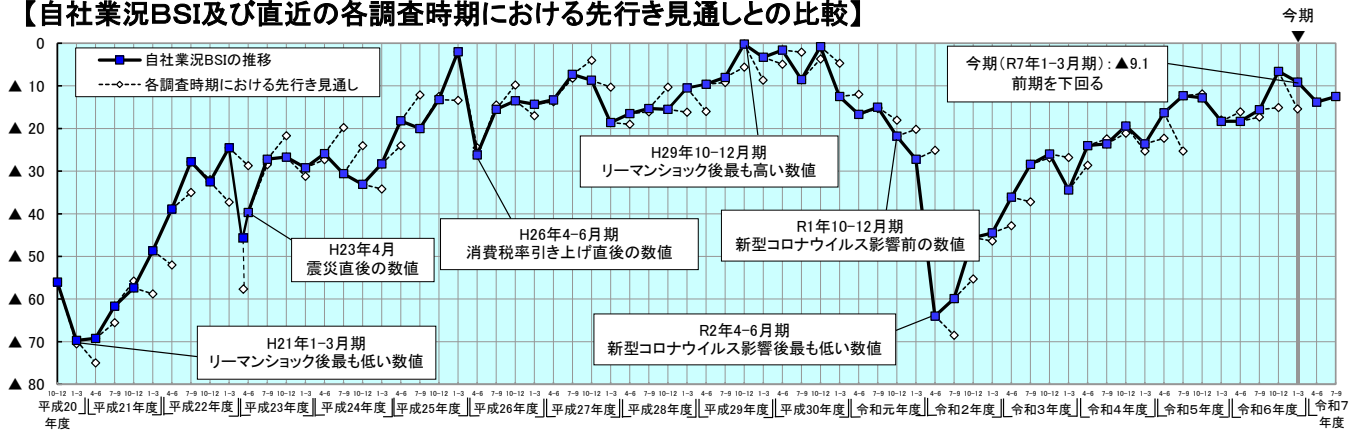
	令和6年 4-6月期	令和6年 7-9月期	令和6年 10-12月期 (前期)	令和7年 1-3月期 (今期)	今期-前期	令和7年 4-6月期 (来期)	令和7年 7-9月期 (再来期)
	自社業況	▲18.3	▲15.6	▲6.6	▲9.1	▲2.5	▲13.8
(1)生産・売上	▲8.0	▲2.1	5.4	▲2.7	▲8.1	▲4.2	▲2.8
(2)経常利益	▲21.6	▲12.2	▲9.0	▲13.2	▲4.2	▲14.9	▲12.3
(3)資金繰り	▲8.2	▲8.1	▲3.0	▲4.6	▲1.6	▲4.5	
(4)雇用人員	▲34.4	▲37.9	▲41.4	▲40.0	1.4	▲39.8	
(5)生産・営業用設備	▲3.1	▲5.7	▲6.8	▲6.1	0.7	▲6.6	▲7.9

(注) 令和7年4-6月期及び令和7年7-9月期は見通し。

(3) 資金繰り及び(4) 雇用人員については、令和7年7-9月期の見通しは調査対象外としている。



### 【自社業況BSI及び直近の各調査時期における先行き見通しとの比較】



裏面あり



**GREEN×EXPO 2027**  
YOKOHAMA JAPAN

2027年国際園芸博覧会 2027年3月～9月 横浜・上瀬谷



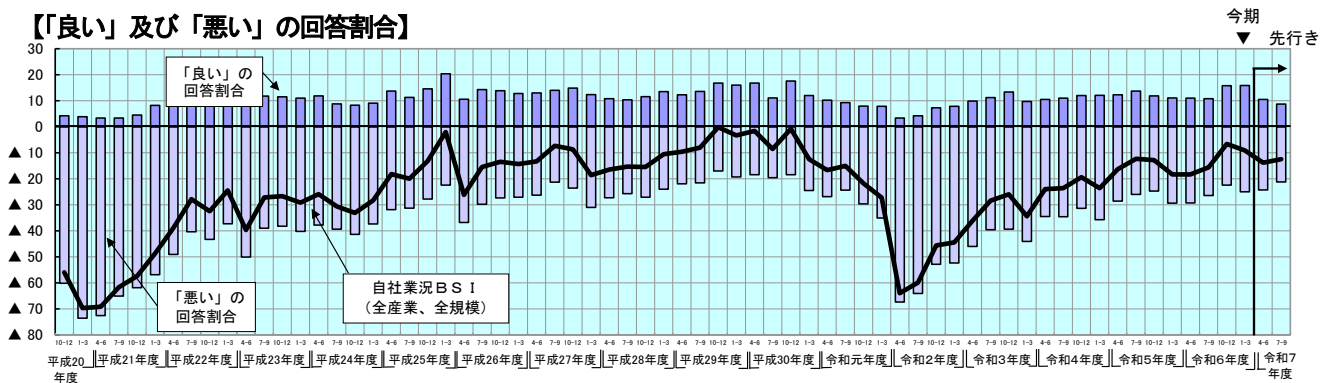
(参考資料) 自社業況BSI (業種別・規模別の推移)

	令和6年	令和7年	今期-前期	1-3月の回答の割合%			令和7年	令和7年	回答 企業数
	10-12月期	1-3月期		良い	普通	悪い	4-6月期	7-9月期	
全産業	▲ 6.6	▲ 9.1	▲ 2.5	15.9	59.1	25.0	▲ 13.8	▲ 12.5	673
製造業	▲ 7.5	▲ 13.2	▲ 5.7	17.3	52.2	30.5	▲ 18.5	▲ 15.7	272
食料品等	▲ 11.1	▲ 36.9	▲ 25.8	10.5	42.1	47.4	▲ 15.8	▲ 10.6	19
繊維・衣服等	▲ 20.0	▲ 12.5	7.5	12.5	62.5	25.0	▲ 25.0	▲ 25.0	8
印刷	▲ 13.3	▲ 18.7	▲ 5.4	6.3	68.8	25.0	▲ 25.0	▲ 25.0	16
石油・化学等	▲ 15.8	▲ 26.1	▲ 10.3	8.7	56.5	34.8	▲ 17.4	▲ 13.1	23
鉄鋼・金属等	▲ 1.8	▲ 13.8	▲ 12.0	19.0	48.3	32.8	▲ 24.2	▲ 17.9	58
一般機械	▲ 1.7	▲ 9.0	▲ 7.3	19.6	51.8	28.6	▲ 5.3	▲ 9.1	56
電機・精密等	▲ 2.2	2.2	4.4	21.3	59.6	19.1	▲ 30.5	▲ 19.1	47
輸送用機械	▲ 35.0	▲ 15.7	19.3	21.1	42.1	36.8	▲ 15.8	▲ 5.3	19
その他製造業	▲ 7.2	▲ 15.4	▲ 8.2	19.2	46.2	34.6	▲ 12.0	▲ 24.0	26
非製造業	▲ 6.0	▲ 6.2	▲ 0.2	15.0	63.8	21.2	▲ 10.6	▲ 10.3	401
建設業	3.6	▲ 3.9	▲ 7.5	19.6	56.9	23.5	▲ 9.8	▲ 9.8	51
運輸・倉庫業	▲ 13.6	▲ 15.3	▲ 1.7	13.0	58.7	28.3	▲ 10.9	▲ 13.1	46
卸売業	▲ 6.2	▲ 7.5	▲ 1.3	16.4	59.7	23.9	▲ 12.0	▲ 7.5	67
小売業	▲ 19.3	▲ 18.2	1.1	10.9	60.0	29.1	▲ 20.4	▲ 27.7	55
飲食店・宿泊業	17.6	21.5	3.9	28.6	64.3	7.1	0.0	▲ 7.1	14
不動産業	▲ 8.5	▲ 5.7	2.8	14.3	65.7	20.0	▲ 8.8	▲ 11.7	35
情報サービス業	7.7	14.3	6.6	26.2	61.9	11.9	▲ 4.7	4.8	42
対事業所サービス業	▲ 7.5	▲ 3.5	4.0	7.0	82.5	10.5	▲ 1.8	0.0	57
対個人サービス業	▲ 12.5	▲ 17.7	▲ 5.2	8.8	64.7	26.5	▲ 21.2	▲ 21.2	34

BSI (Business Survey Index)は、景気の強弱感を次の算式により求めている。BSI = 良い% - 悪い%

	令和6年	令和7年	今期-前期	1-3月の回答の割合%			令和7年	令和7年	回答 企業数
	10-12月期	1-3月期		良い	普通	悪い	4-6月期	7-9月期	
全産業	▲ 6.6	▲ 9.1	▲ 2.5	15.9	59.1	25.0	▲ 13.8	▲ 12.5	673
大企業	▲ 20.0	▲ 13.9	6.1	8.3	69.4	22.2	▲ 16.6	▲ 11.1	36
中堅企業	▲ 3.5	0.9	4.4	16.2	68.5	15.3	0.0	1.9	111
中小企業	▲ 6.4	▲ 10.9	▲ 4.5	16.3	56.5	27.2	▲ 16.4	▲ 15.5	526
うち小規模企業	▲ 14.1	▲ 13.7	0.4	14.6	57.1	28.3	▲ 17.2	▲ 16.9	205
製造業	▲ 7.5	▲ 13.2	▲ 5.7	17.3	52.2	30.5	▲ 18.5	▲ 15.7	272
大企業	▲ 37.5	0.0	37.5	22.2	55.6	22.2	▲ 11.1	0.0	9
中堅企業	▲ 25.0	0.0	25.0	11.1	77.8	11.1	11.1	12.5	9
中小企業	▲ 5.9	▲ 14.2	▲ 8.3	17.3	51.2	31.5	▲ 19.9	▲ 17.1	254
うち小規模企業	▲ 12.7	▲ 15.5	▲ 2.8	14.8	54.9	30.3	▲ 17.4	▲ 15.9	122
非製造業	▲ 6.0	▲ 6.2	▲ 0.2	15.0	63.8	21.2	▲ 10.6	▲ 10.3	401
大企業	▲ 14.8	▲ 18.5	▲ 3.7	3.7	74.1	22.2	▲ 18.5	▲ 14.8	27
中堅企業	▲ 1.9	1.0	2.9	16.7	67.6	15.7	▲ 1.0	1.0	102
中小企業	▲ 6.9	▲ 7.8	▲ 0.9	15.4	61.4	23.2	▲ 13.3	▲ 14.1	272
うち小規模企業	▲ 16.1	▲ 10.8	5.3	14.5	60.2	25.3	▲ 17.1	▲ 18.2	83

【「良い」及び「悪い」の回答割合】



◎報告書掲載 URL <https://www.city.yokohama.lg.jp/business/kigyoshien/tokei-chosa/keikyou.html>



お問合せ先		
経済局総務部企画調整課長	粕谷 美路	Tel 045-671-2565
横浜商工会議所政策課長	牧畑 昌明	Tel 045-671-7433



**GREEN x EXPO 2027**  
YOKOHAMA JAPAN

2027年国際園芸博覧会 2027年3月～9月 横浜・上瀬谷

